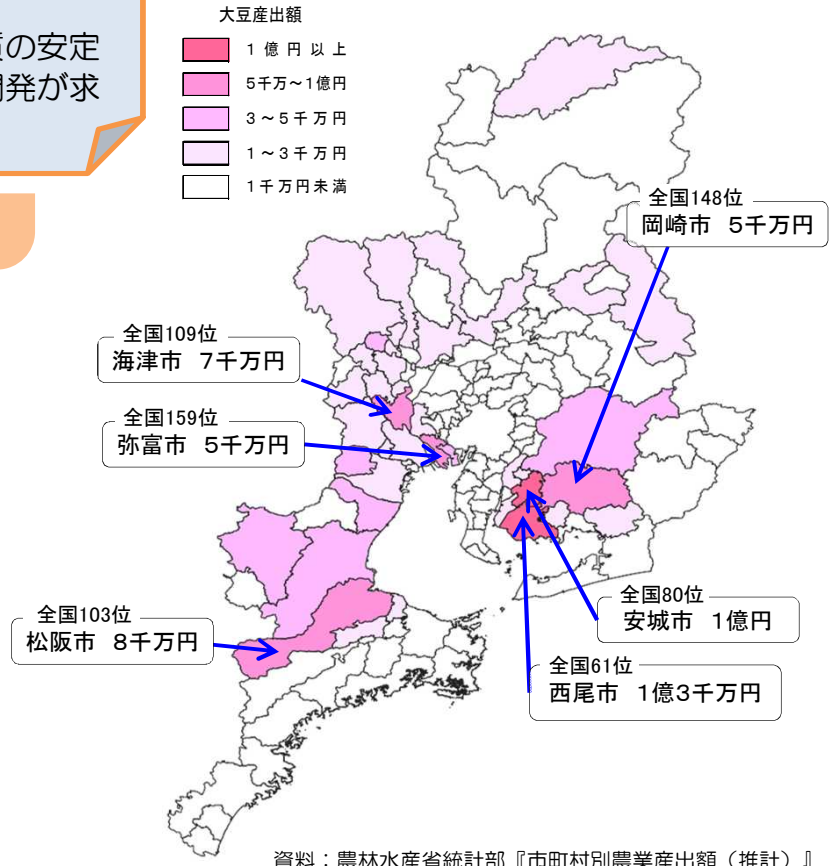


大豆

～ 大豆の自給率は6%でアメリカなどからの輸入に依存 ～

大豆の自給率は6%です。
しかし、味の良さなどから、消費者ニーズが高く、今後も国産大豆の需要は高まると言われています。
それに応えるには、量、価格、品質の安定供給が不可欠とされ、優れた品種の開発が求められています。

東海3県大豆の市町村別産出額
(平成30年)



資料：農林水産省統計部『市町村別農業産出額（推計）』
注：平成30年大豆の産出額を金額で色分けしたものの。

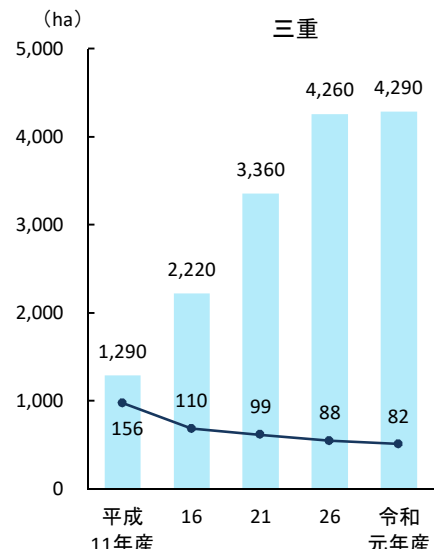
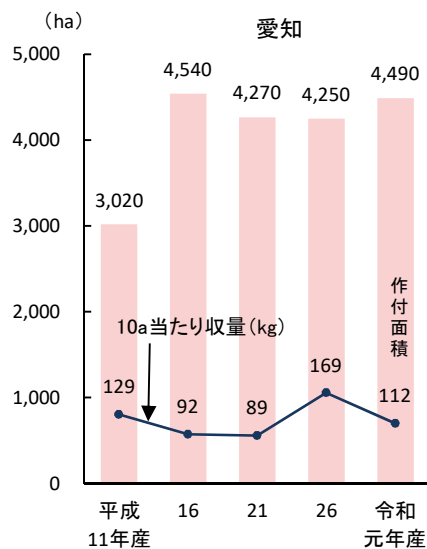
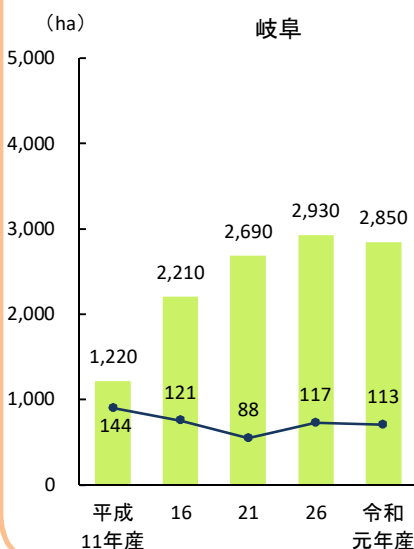
大豆産出額の全国順位（平成30年）

単位：億円

順位	都道府県	大豆産出額
1 (1)	北海道	112
2 (4)	佐賀	20
3 (5)	宮城	20
4 (3)	福岡	20
5 (8)	秋田	12
6 (2)	兵庫	12
7 (7)	岡山	10
8 (9)	新潟	10
9 (12)	山形	8
10 (10)	富山	8
⋮		
17 (11)	愛知	5
20 (16)	三重	3
24 (19)	岐阜	3

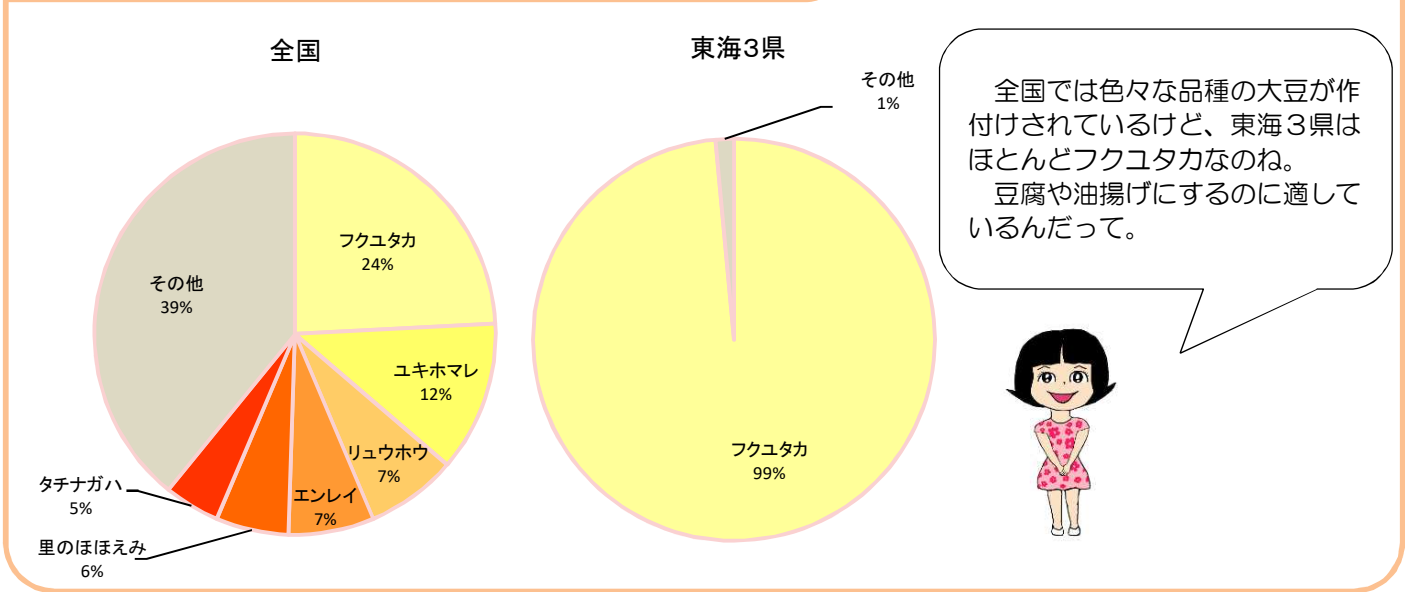
資料：農林水産省統計部『生産農業所得統計』
注：（ ）内は前年の順位である。

県別の大豆作付面積と10a当たり収量の推移



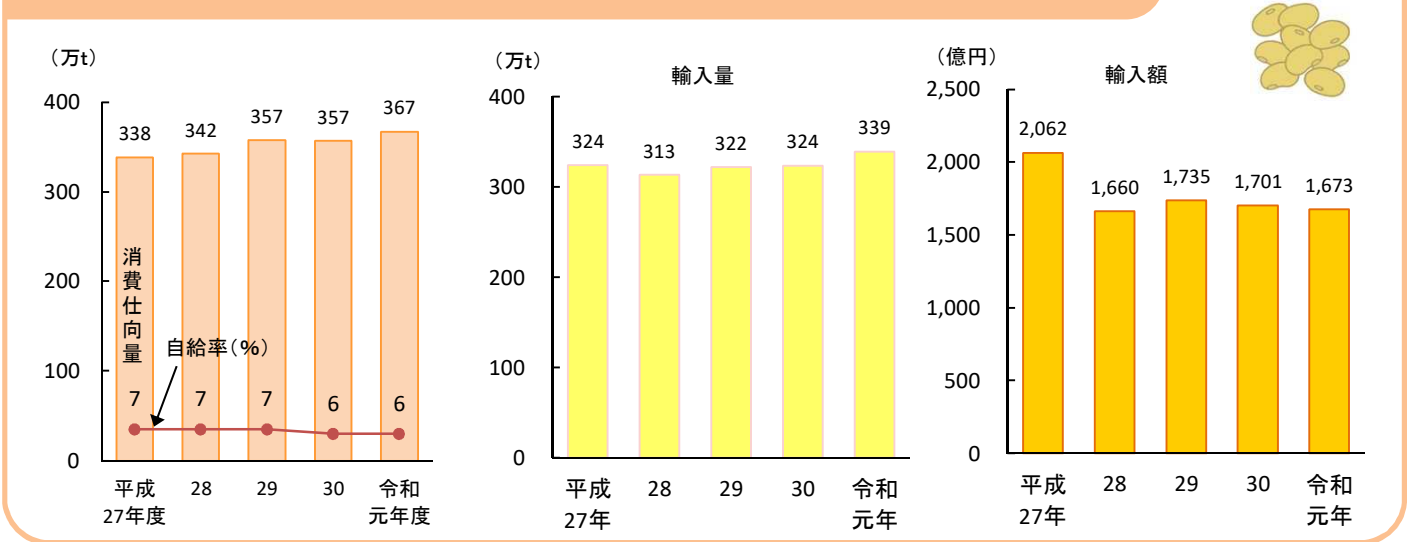
資料：農林水産省統計部『作物統計』

大豆の品種別作付面積割合（平成28年産）



資料：東海大豆をめぐる事情（令和元年7月版）
注：四捨五入により計が100%とまらない場合がある。

国内の大豆消費仕向量と自給率、輸入量と輸入額の推移（輸出はゼロ）



資料：農林水産省『食料需給表』（令和元年度は概算）、財務省『貿易統計』

1世帯当たりの大豆加工品の支出金額の推移とランキング（令和元年）



資料：総務省統計局『家計調査結果』
注：ランキングについては都道府県庁所在市の順位である。